

小名浜地域児童発達支援ネットワーク会議の概要

1 開催経緯と目的

療育を必要とされる未就学児ケースが増加し、中でも3歳未満で療育を勧められるケースが増え低年齢化が進んでいる。親への支援と、児の発達や特性に応じた療育が求められるが、対応できる児童発達支援事業所は不足している。また、ほとんどがセルフプランであり相談支援事業所不在の中、児童発達支援事業所が家族、幼稚園や保育所、行政と調整しており、就学までの相談支援が行き届いていない。

また、早期療育の認識や必要性の見立てが関係機関で異なることがあり、保護者の混乱の要因となっている。関係機関での早期療育に関する認識の共有化は、児童発達支援事業所だけでなく、保育所や幼稚園、医療機関や相談支援機関も含めた全体の課題である。

この度は、「小名浜地域児童発達支援ネットワーク会議」と称し、未就学児の発達や特性に合った療育を受けることができる地域づくりと、就学に向けて切れ目のない支援が行われる体制づくりを目的に、児童発達支援事業所と行政機関等が集い、地区の療育支援の課題を共有・協議・実行する場を設ける。

2 内容

課題の抽出・整理・協議、勉強会、実践報告会 等

3 参加機関

児童発達支援事業所（9か所）
小名浜地区保健福祉センター健康係、福祉介護係
いわき市子育てサポートセンター
いわき市障がい福祉課
いわき障がい者相談支援センター小名浜地域

4 事業実施行程

令和4年度より開始し、令和5年度は、2ヶ月に1回の頻度で開催。令和6年度以降は年数回開催し、終結を目指す。

5 企画運営機関

いわき障がい者相談支援センター小名浜地域
小名浜地区保健福祉センター健康係
子育てサポートセンター
児童発達支援事業所（3か所）

6 開催状況

(1)令和4年度 第1回

日 時： 令和5年2月28日(火) 14:00～15:30

場 所： 小名浜支所第1会議室 参加者：19名

内 容： 顔合わせを行い、児童発達支援事業所や行政、相談支援機関が抱える課題を
発表。親との関わり方、家庭・幼稚園・保育所との連携の仕方、就学まで切れ目
なく行える支援体制、療育の根拠の示し方、互いに相談し合える顔の見える関係
づくり、等が出された。課題に対し当会議で取り組めることや、市や児童・療育
支援部会等で取り組めるとよいことの整理は、次回以降に行っていくこととし
た。

(2)令和5年度 第1回

日 時： 令和5年5月24日(水) 13:30～15:00

場 所： 小名浜公民館3階講義室2 参加者：19名

内 容： 障がい福祉課から児童発達支援ガイドラインの周知。グループワークを行い、
児童発達支援ガイドラインに示されている「発達支援」「家族支援」「地域支援」
について課題の整理を行った。また、当会議の企画運営会議には事業所からも
数名加わり、官民協働で運営することに。

(3)令和5年度 第2回

日 時： 令和5年7月10日(月) 13:30～15:00

場 所： 小名浜公民館3階小講堂 参加者：16名

内 容： グループワークを行い、第1回会議で抽出した課題について、手立ての抽出と
整理を行った。また、企画運営会議に出席する3事業所が決定。次回は、コア
メンバーでの会議を開き、児童発達支援実践の課題と手立てのまとめを行う予
定。